

理学療法士(PT)は医学的知識・技術を基に、身体づくりをしながら、起きる・立つ・歩く動作を基本に日常生活をサポートする専門家です。

訪問リハビリの対象

小児から高齢者（老年症候群）に渡り、難病を含めた様々な疾患に対応しています。

訪問リハビリの時期

退院直後から短期集中的に在宅生活の基盤を創りたい時
これまで通りの方法で生活が立ち行かなくなった時
ターミナルで在宅で看取る時

など多岐にわたります

訪問リハビリの特徴

- ✓ 実際の住まいや地域に出向くことで、見えてくる『困っている生活行為』、『やり遂げたい生活行為』を本人や家族、地域の方々と共有し、その人らしい生活の実現に向けた支援が出来ます。
- ✓ 身体機能の維持・向上にとどまらず、社会参加・役割創出に向けた支援がより行いやすいです。

住み慣れた自宅で暮らし続けられるように

ご自宅の生活環境に則した日常生活動作練習（歩行・トイレ・入浴・着替えなど）を行うことで、より効率的に安全な動作の習得に繋がります。

お1人では大変な動作を一緒に確認した上で、必要な福祉用具や手すり設置などの住宅改修を提案します。



いつまでも役割を担えるように

買い物、調理、洗濯、掃除といった家事動作、さらにはお仕事など、これまで行ってきた役割が再び行えるように実際に動作を確認・練習していきます。

外出先に応じて、屋外歩行練習、公共交通機関の利用練習を実施します。



誰もが無理しすぎないように

安全に行える介助方法や、ご自分の出来る能力を生かした支援方法を、ご本人・ご家族に限らず訪問介護、訪問看護などの他職種の方々にも提案し共有します。



人や地域との繋がりを感じられるように

人との交流や趣味活動といった生きがい作りとして、通所介護や通所リハなどの介護サービスに繋がったり、地域のサロンなどの通いの場に出かけるなど、インフォーマルな社会資源とも連携していきます。



体験談・事例紹介

自宅内で転倒し大腿骨頸部骨折を受傷し入院。退院にあたり買い物に行くことを希望されたパーキンソン病の70代女性

外に出ると転びそうで怖かったのですが、退院直後から訪問リハビリで一緒に上がり框の昇り降りや庭先に出て歩く練習をしました。さらに少しずつスーパーや公民館まで歩いていく練習をしたことで自信が付いていきました。

今は提案された歩行器を使用して買い物に行ったり、公民館のカラオケサークルにも友達と参加できるようになりました。現在は訪問リハビリを卒業し、近くの通所リハビリに通っています。

自宅での入浴を希望されていた 脳梗塞右片麻痺 70代男性

訪問リハビリの提案により、まず安全に入浴を行うに必要な福祉用具、手すりの設置をしました。ヘルパーさんと一緒にお風呂の出入りの練習をしたおかげで、今ではヘルパーさんに見守ってもらい、安心して自宅のお風呂にゆっくり入れています。

これからも安全に湯船の出入りが出来るよう、訪問リハで指導を受けた自主トレーニングメニューに励んでいます。

その方のやりたいことを引き出し、とことん生活に根付いたリハビリを提案できるのが訪問リハビリの強みです。自宅生活に不自由を感じる方は些細のことでもご相談ください。

事業所のご案内

▶群馬県ホームページ

<http://www.pref.gunma.jp/>

→トップページ>健康・福祉

>高齢者・介護>施設・事業者>

>高齢者福祉施設、

介護保険施設・事業者一覧

>群馬県介護保険居宅サービス事業所一覧

・訪問リハビリテーション事業所一覧

▶群馬県理学療法士協会ホームページ

http://gunma-pt.com/?page_id=693

→トップページ

>群馬リハビリテーションマップ

訪問リハビリ実施時間や内容・料金、必要な手続きなどについて詳しくお知りになりたい方は、お近くの事業所またはケアマネジャーにご相談下さい。

お問い合わせ先

理学療法士による

訪問リハビリ

テーションのご案内



一般社団法人
群馬県理学療法士協会